



## ● ウェブマガジンを創刊しました

本年7月、学生、卒業生、イベントの情報など、「技大の今」を発信するため、「筑波技術大学ウェブマガジン」を創刊しました。ぜひご覧ください。

筑波技術大学ウェブマガジンへは以下の URL からアクセスできる他、本学ホームページのトップページ右下からもアクセスが可能ですので、ブックマーク等の登録をお願いいたします。

【筑波技術大学ウェブマガジン URL】 <https://tsukumaga.com/>

筑波技大 ウェブマガ

検索



ウェブマガジンだけでなく、各種 SNS でも本学の情報を発信しておりますので、友だち登録やフォローをお願いいたします！

- Facebook 298tech <https://www.facebook.com/298tech>
- twitter 298tech <https://twitter.com/298tech>
- LINE@ @tsukuba-tech

(広報室)

Find us on



## LINE@

お友達登録はこちら

QRコードから



- ① 友だち追加
- ② QRコード
- ③ 左のQRコードを読み取る

ID検索から



② @tsukuba-tech  
を入力

## ● 平成 30 年度筑波技術大学入学式を実施



学長式辞の様子

4月5日 木曜日、本学天久保キャンパス講堂において、平成30年度筑波技術大学入学式を挙行了いたしました。入学式では、学部64名（産業技術学部35名、保健科学部29名）及び大学院技術科学研究科13名（保健科学専攻6名、情報アクセシビリティ専攻7名）の入学が許可されました。

学長式辞では、大越学長より、新入生が社会で活躍するための十分な「基礎力」を身につけるため、大学生活で実践してほしい4つのことをお話いただきました。

- ・「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業に積極的に参加すること
- ・目標を目指して「やり抜く力」を発揮し、社会自立を実現すること
- ・留学を経験し、真の「グローバル人材」になること
- ・スポーツや課外活動に積極的に取り組んで「人間力」を高めること

式辞は、新入生全員が学部卒業・大学院修了する時には「筑波技術大学に入学して本当によかった」と思えるような、実り多い大学生活になることを祈念して締めくくられました。

学長式辞の後は、両学部入学生代表による入学宣誓です。二人とも大学での新生活に胸を膨らませている様子でした。

引き続き、来賓の一般財団法人全日本ろうあ連盟理事長の石野 富志三郎氏、元筑波技術短期大学長の西條 一止氏からそれぞれ祝辞をいただきました。



入学宣誓の様子 産業技術学部 土橋 大幹さん（上）  
保健科学部 寺本 悠佑さん（下）

（総務課総務係）

● 平成 29 年度筑波技術大学学位記授与式を実施



学長式辞の様子

3月16日 金曜日、本学天久保キャンパス講堂において、平成29年度筑波技術大学学位記授与式を挙行政いたしました。今回、学位記を授与されたのは、産業技術学部47名、保健科学部27名、合わせて74名の学部卒業生、及び、大学院修士課程技術科学研究科、産業技術学専攻1名、同研究科保健科学専攻4名、同研究科情報アクセシビリティ専攻3名、合わせて8名の修了生でした。

続いて双峰賞授与・学長表彰を実施しました。今回双峰賞を授与したのは、太田 美菜子さん（産業技術学部総合デザイン学科卒業）と安藤 玄太郎さん（保健科学部情報システム学科卒業）の2名で、学長表彰を受けたのは、矢野 和希さん（産業技術学部産業情報学科卒業）と須山 直子さん（産業技術学部産業情報学科卒業）の2名でした。



学位記授与の様子

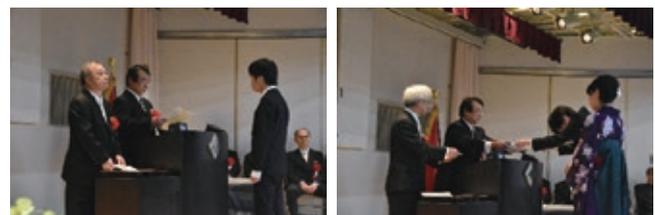
学長式辞、来賓祝辞の後、卒業生及び修了生から謝辞が述べられました。卒業生代表謝辞は産業技術学部代表の小林 なな恵さん（産業技術学部産業情報学科卒業）と保健科学部代表の藤戸 雅也さん（保健科学部情報システム学科卒業）、修了生代表謝辞は技術科学研究科代表の辻田 容希さん（技術科学研究科産業技術学専攻修了）でした。



謝辞を述べる小林さん（左）、藤戸さん（右）



謝辞を述べる辻田さん（左）、双峰賞を受ける太田さん（右）



双峰賞を受ける安藤さん（左）、  
学長表彰を受ける矢野さん、須山さん（右）

(総務課総務係)

## ● 新任教員紹介

本年4月採用の先生方をご紹介します。

(①氏名②専門分野③自己紹介・抱負など)

### 産業技術学部



①小林 彰夫②情報工学(音声言語処理、パターン認識、機械学習)③ことし3月まで、ニュースなどの生放送番組を対象として、音声認識によるリアルタイム字幕製作システムの開発研究を行ってまいりました。本学では、音声だけではなく、視聴覚の情報を統合したマルチモーダルコミュニケーションや情報保障に関する研究を学生のみなさんと進めていきたいと考えております。



①梅本 舞子②住環境計画③地域社会に開かれた住まいが豊かな住生活を育むと考え、研究を進めています。近隣に対して閉鎖的な現代の住まいの見直しであり、開くことで安心感や防犯性、近隣の活性化に繋げるものです。近隣の様子を視覚的に把握できるという点は、聴覚障害を考える上でも重要なテーマでしょう。皆さんとコミュニケーションをはかりながら、豊かな住環境の実現に向けて、様々な取り組みを行いたいと考えています。



①守屋 誠太郎②立体造形、彫刻、美術教育③私は、これまで美術教育や彫刻・立体造形分野で大学教育・学校教育に関わってきました。総合デザイン学科では、立体造形系科目を中心としてこれまでの経験を踏まえて教育活動を行います。そして、学生と関わっていく中で、障害の壁を超えた芸術活動やものづくりの楽しさや喜びを共有出来る美術・デザイン教育を目指して取り組みたいと思います。



①金谷 健太郎②熱流体力学③伝熱現象を流体力学を用いて理論的・数值的に研究しています。特に、相変化(蒸発・凝縮等)をともなう熱伝達や液膜のダイナミクスの解析をしています。学生には数学よりも物理の本質がわかるように心掛けたいと思います。私が学生に特に教えたことは、(1)外見で物事を判断しない、(2)人が正しいと思うことを正しいと信じない、ということです。



①横井 聖宏②感性情報学③これまで、デザイン学、情報学、心理学をはじめとした分野横断型の教育・研究を行ってきました。この経験を活かして、広い視野と応用力をもった社会の即戦力となる学生の育成に尽力します。

### 保健科学部



①竹下 浩②働くスキルの科学(経営学・心理学)③働くためのスキルには、技術的スキルに加え対人的や概念的なスキルが含まれます。従来の「不足する情報を機器で補う」接近法に加え、「晴眼者より発達したスキルを特定し、具体的な職種やタスクに結び付ける」ことが目的です。例えば、求職者と雇用者の両方に役立つガイドとして、障害者の就労スキル獲得プロセスを説明・予測できるモデルを構築します。



①成島 朋美②鍼灸手技療法学③本学とのご縁は約10年前に医療センターの研修生として入所したことに始まります。その後、鍼灸学専攻や盲学校にて視覚障害教育支援に携わり、本年度より医療センターの助教となりました。研修生としての経験、視覚障害教育の経験、女性の視点などを活かし、鍼灸手技療法のエビデンスの発信と地域医療への貢献、後進の育成等に努めていきます。よろしくお願いいたします。

### 障害者高等教育研究支援センター



①藤井 拓哉②英語教授法③現在英語は、世界の共通語と考えられています。そのため、英語は学校で学ぶ科目であると同時に、世界中の人とコミュニケーションを取ったり、世界の情報を得たりするための手段にもなっています。自分の知らない文化に触れ、日本語では得られない情報を得ることでみなさんの世界が大きく広がるでしょう。みなさんの人生を豊かにする英語を、一緒に学んでいきましょう！

以上、8名の先生方です。よろしくお願いいたします。

(広報室)

## ● 学生の活躍

### 本学大学院生が2018年度笹川科学研究助成の採択を受ける

本学技術科学研究科情報科学専攻2年生の加藤 優さんが「聴覚障害児の環境音認知のために聴覚的記憶形成を支援するシステム」という研究テーマで2018年度笹川科学研究助成を受けることになり、4月27日 金曜日 ANA インターコンチネンタルホテル東京で行われた2018年度笹川科学研究助成研究奨励の会に参加しました。今年度、数物・工学系分野での採択率は25.4%ということです。本学の修士学生で研究助成を受け、大学に寄付を行うのは初めてとなります。

加藤さんは大学4年生の特別研究でこの研究テーマに取り組み始め、聴覚障害を持つ多くの児童に環境音の理解をしてもらいたいという強い気持ちから社会人経験後に研究を再開しました。

聴覚障害を持ちながら研究を行うにあたっては、学会や研究会で関連研究を聴講したい、自分の研究を発表したい、と思っても情報保障を常に得られるわけではないため、制約を感じることも多いはず。加藤さんは修士1年生の間、これまで情報保障が行われていなかった学会や研究会に働きかけ、情報保障を実施してもらいました。笹川科学研究助成研究奨励の会において、主催者に情報保障がなぜ

必要なか、どのような情報保障が必要なのか、を説明して、会場でのノートテイクが実現されました。

今年度は研究助成金を利用して海外での発表も行う予定で、今後の研究の発展が期待されます。



会場でのノートテイクの様子



決定通知書を持つ加藤さん

(産業技術学部産業情報学科 平賀 瑠美)

### 水泳の国際大会で銀メダルを獲得

障がい者水泳日本代表チーム(トビウオパラジャパン)の選手の一人として、保健科学部保健学科鍼灸学専攻2年生の齋藤 元希さんが、WPS ワールドパラシリーズヨーロッパ大会(イタリア・イギリス・ドイツ)に参加し、優秀な成績を収めました。特に、ドイツで開催されたIDMベルリン大会においては、400m個人メドレーで銀メダルを獲得するという快挙を成し遂げました。

これらの大会は、8月のパン・パシフィックパラ水泳大会(オーストラリア)、10月のアジアパラ大会(インドネシア)と共に、2020年東京パラリンピックに向けての重要な大会でした。齋藤君は、この成績により、パン・パシフィックパラ水泳大会(オーストラリア)の代表に内定しました。

6月18日月曜日、大越 教夫学長、石原 保志副学長を表敬訪問し、メダルを手に大会の成果を報告しました。2020年のパラリンピックを大きな目標として、今後ますますの活躍が期待されます。



学長表敬の際の記念撮影

(保健科学部学部長 石塚 和重)

## ● 国際交流加速センターが本格的な活動を開始



本学来訪の様子

本年4月より国際交流加速センターが本格的な活動を開始しました。これまで国際交流委員会及び留学生センター設置準備室においてそれぞれに実施していた活動は国際交流加速センターへ一本化させることとなりました。4月以降、協定校を始めとした海外からの訪問がありました。

5月15日 火曜日、マヒドル大学ラチャスダカレッジ（タイ）の Warin Krityakiarana 教育学部副学部長代理ら6名が来訪し、学長表敬、天久保・春日両キャンパスの施設見学を行いました。マヒドル大学ラチャスダカレッジと本学は、平成27年2月12日より協定を結んでおり、今後、国際交流加速センターを通じた共同研究や学生交流が期待されます。

5月23日 水曜日、アメリカロチェスター工科大学 NTID（以下、RIT/NTID）一行が本学を来訪しました。RIT/NTID 一行は、異文化交流の授業として、3週間の日本研修を行っており、その一環で本学に来校したものです。

学長表敬、学内見学を行った後、アメリカ手話履修学生による交流企画を用意し、すごろくや日本の伝統的な遊びの紹介などを通して交流を深めました。また、2年次生の英語授業に参加いただき、英語の筆談・アメリカ手話等を

駆使した相互のコミュニケーションを楽しみました。こうした学生交流は、開学以来継続的に実施されており、今年度末には本学学生が RIT/NTID を訪問する予定です。

7月17日 火曜日から7月27日 金曜日の9日間、交流協定締結大学である北京連合大学から、「国際教育短期受入プログラム」学生として4名の留学生を受け入れました。

本プログラムは、本学の正規課程への入学や長期留学へ繋げることを目的としており、日本学生支援機構の平成30年度海外留学支援制度（協定受入）に採択されたものです。4名は、本学開設の専門科目の授業を中心に本学学生とともに受講した他、学内の見学・実習等を行いました。いずれの授業でも、参加した学生は熱心に聴講し、有意義な時間となったようです。また、最終日には、各自が本プログラムにおいて学習したことについて報告会を行い、無事に全ての課程を修了しました。

この他にも韓国ナザレ大学の学生やミュンヘン大学（ドイツ）からの視察等を受け入れました。今後も本学の国際交流の推進に貢献していきたいと考えています。

（国際交流加速センター長 西岡 知之）

## ● 日本赤十字社茨城支部災害救護訓練に協力



訓練の様子(上)、事前研修会の様子(下)

7月7日 土曜日、つくばカピオにおいて、「日本赤十字社茨城支部常備救護班等災害救護訓練」が行われ、本学は参加協力機関として参加しました。6日 金曜日に行われた事前研修会では、障害者高等教育研究支援センターの白澤 麻弓准教授が「災害時の聴覚障がい者について」講義を行いました。7日 土曜日の訓練には、産業技術学部2・3年生6名が、傷病者役として参加しました。訓練終了後、学生からは「聴覚障がい者のことを理解してもらえる良い機会となったと思う」「手話ができなくても積極的にコミュニケーションを取ってくれたらもっと嬉しい」と感想を述べていました。訓練の様子は、茨城新聞に掲載していただきました。

(障害者高等教育研究支援センター 中島 幸則、白澤 麻弓)

## ● 「いきいき茨城ゆめ大会」選手団サポートボランティア養成講座を実施

4月25日 水曜日、本学天久保キャンパスにおいて、産業技術学部生を対象とした第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」の選手団サポートボランティア養成講座を実施しました。選手団サポートボランティア養成講座は、茨城県内の各学校において開催することとされていますが、本学での講座が、県内で一番初めに実施されるものでした。

また、全国障害者スポーツ大会の選手団サポートボランティアに、聴覚障害者を対象とした大学の学生が参加するのは「全国初」となります。

今回参加した学生は、熱心な態度で講座に臨み、選手のサポートに必要なことを学んでいました。

※第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」は、2019年10月12日(土)～10月14日(月)に茨城県内各地で開催されます。

(障害者高等教育研究支援センター 中島 幸則)



講座の様子



大会マスコットキャラクター「イバラッキー」と参加学生

## ● 日本リハビリテーション医学会国際誌最優秀賞を受賞

6月28日 木曜日、保健科学部保健学科の三浦 美佐准教授が、日本リハビリテーション医学会国際誌最優秀賞を受賞しました。

受賞対象となったのは、日本リハビリテーション医学会雑誌「Progress in Rehabilitation Medicine」で行なった研究論文発表「Training with an Electric Exercise Bike versus a Conventional Exercise Bike during Hemodialysis for Patients with End-stage Renal Disease: A Randomized Clinical Trial」です。

同賞は、2017年に日本リハビリテーション医学会で発表されたすべての国際誌原著論文の中から、優秀な発表に対して授与される賞です。授賞式は福岡県福岡市で開催された第55回学会総会後に同会場にて行われました。受賞理由は、「極めて優秀であり今後のリハビリテーション医学の発展に寄与するところ多大と認める」とのことでした。

(広報室)

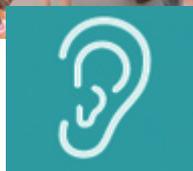


授賞式の様子

## ● 大学説明会等を実施しています！

産業技術学部、保健科学部、大学院技術科学研究科では大学説明会等を実施しています。本学の入学に関する様々な相談に応じておりますので、ぜひご参加ください。

### 産業技術学部



産業技術学部  
オープンキャンパスの様子

産業技術学部では、オープンキャンパス（年1回）、出張オープンキャンパス、授業見学会、ミニ説明会などで入試に関する情報提供を行っています。以下の本学ホームページに記載されている大学説明会等のスケジュールをご覧ください、申込フォームよりお申込みください。

(筑波技術大学ホームページ 産業技術学部)

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/admission/it/opencampus/>  
随時、受験に関する相談、授業や施設の見学等を受け付けておりますので、ご希望の方は下記へお問い合わせください。

○聴覚障害系支援課 教務係

〒305-8520 茨城県つくば市天久保(あまくぼ)4丁目3-15

TEL: 029-858-9329 FAX: 029-858-9335

E-mail: [opencampus@ad.tsukuba-tech.ac.jp](mailto:opencampus@ad.tsukuba-tech.ac.jp)

### 保健科学部

保健科学部では、オープンキャンパス（年4回）、全国各地で行う大学説明会などで入試に関する情報提供を行っています。本学ホームページに記載されている大学説明会等のスケジュールをご覧ください、参加申込書にてお申込みください。

(筑波技術大学ホームページ 保健科学部)

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/admission/hs/opencampus/>  
随時受験相談・授業見学を受け付けておりますので、受験相談や授業見学等を希望される方は、別途下記へお問い合わせください。

○視覚障害系支援課 教務係

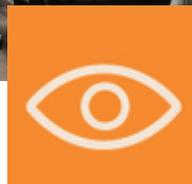
〒305-8521 茨城県つくば市春日4丁目12-7

TEL: 029-858-9507 ~ 9509 FAX: 029-858-9517

E-mail: [kyoumuk@ad.tsukuba-tech.ac.jp](mailto:kyoumuk@ad.tsukuba-tech.ac.jp)



保健科学部  
春のオープンキャンパスの様子



### 大学院技術科学研究科

筑波技術大学大学院 技術科学研究科には、産業技術学専攻、保健科学専攻、情報アクセシビリティ専攻の3つの専攻があり、それぞれ専攻説明会を実施しております。詳細は大学ホームページをご覧ください。

(筑波技術大学ホームページ 大学院 技術科学研究科)

[https://www.tsukuba-tech.ac.jp/department/grad\\_school/](https://www.tsukuba-tech.ac.jp/department/grad_school/)

平成26年4月より設置された「情報アクセシビリティ専攻」には、障害の無い方も入学することができます。

なお、本学入学以外に関するご見学のご希望は、巻末に記載の連絡先(担当：企画課 広報・情報化推進係)へお問い合わせください。

(聴覚障害系支援課、視覚障害系支援課)